

埼玉県新型コロナウイルス専門家会議委員への意見照会（電子メール）の概要

1. 意見の回答日

令和3年5月8日（土）

2. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会会長
伊藤 光男	埼玉県中小企業団体中央会会長
岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
川名 明彦	防衛医科大学校 教授
近藤 嘉	日本労働組合総連合会埼玉県連合会会長
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 准教授
讃井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター 教授
三村 喜宏	埼玉県商工会連合会会長

3. 照会事項

埼玉県におけるまん延防止等重点措置等に基づく協力要請について
詳細は別添資料のとおり

4. 主な意見

- 賛同する。職場内における感染が増加していることから、県内商工団体へ、感染対策の徹底について要請をいただき、団体から会員企業向けへ要請書などを発出することで、感染予防対策の徹底を図りたい。(池田委員)
- 措置については致し方ない。飲食店をはじめとする零細中小企業に対するの引き続きの支援をお願いしたい。(伊藤委員)
- 一般的にはコロナ不況だが、過去最高の利益を上げている企業があるように、消費構造が変化していることも事実である。その変化に対応する気持ちのある企業への支援もお願いしたい。(伊藤委員)
- 賛同する。なお、以前行われた子供たちが遊ぶような家の近くの公園類までの全面閉鎖は行わないでいただきたい。(岡部委員)
- 賛同する。県民の皆様には、感染者が減少に転じていないという現状をしっかりと御認識いただき、自分と家族や周りの人たちの生活を守るために、自分事として捉え、協力に応じていただきたい。(坂木委員)
- 賛同する。人流の抑えが効かず、感染者数も減少しない現状は県民の行き場のない気持ちの表れと考える。PCR 検査とワクチン接種を全力で実施することが最重要課題である。(松田委員)

【県の対応】

- 県内の感染状況及び委員の意見を踏まえ、まん延防止等重点措置等について決定した。(5月8日開催 第51回新型コロナウイルス対策本部会議において決定。)